| 教科 | 国語 | 学年 | 第3学年 |
|----|----|----|------|

| 単元名 | 時数 | 単元の到達目標(小単元のねらい) | 単元のまとまりの評価規準 | | |
|-------------------|---------|--|--|---|--|
| 単九石 | 叶奴 | 単元の到達日標(小単元のねらい) | 知識・技能 | 思考·判断·表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 春に | 1 | ●言葉の中の春を読む。 | 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」に おいて、文章の構成や論理の展開、表 現の仕方について評価している。 | 【態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。 |
| 随筆 立ってくる春 | 3 | ●文章の種類を踏まえ,その展開の仕方に着目して, 筆者の個性的な考えを捉える。 | 【知識・技能】文章の種類とそ の特徴について理解を深めてい る。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」に おいて、文章の構成や論理の展開、表 現の仕方について評価している。 | 【態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。 |
| 随筆 なぜ物語が必要なのか | 3 | ●文章の種類と特徴について理解を深める。 ●知識や経験と結びつけて文章を読み、内容を評価する。 | 【知識・技能】文章の種類とそ の特徴について理解を深めてい | 【思考・判断・表現】「読むこと」に おいて、文章の種類を踏まえて、論理 や物語の展開の仕方などを捉えてい る。 | |
| 一言でまとめ一言から 広げる | 話聞 1 | ●言葉の意味を把握し、具体的なできごとを考える。 | 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 | |

| 小説 私 | | ●読書が自分と社会との関わりを支えている、ということを理解する。 ●文章を吟味して読み、文章に表れているものの見方や考え方について批評する。 ●作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。 | 【知識・技能】自分の生き方や 社会との関わり方を支える読書 の意義と効用について理解して いる。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 | で考えを広げたり深めたりし |
|--|---|---|---|---|---|
| 読書 薔薇のボタン | 2 | どを読み,知識を広げた | 【知識・技能】自分の生き方や 社会との関わり方を支える読書 の意義と効用について理解して いる。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 | 【態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。 |
| 【話す聞く】 構成を考えて主張をま とめる | | ●社会生活の中から自分で課題を見つけ、主張をまとめる。 ●自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成を工夫する。 | 【知識・技能】具体と抽象など 情報と情報との関係について理 解を深めている。 | | 【態度】すすんで情報の信頼 性の確かめ方を理解して使 |
| メディア・リテラシー はなぜ必要か?/新聞 が伝える情報を考える | 2 | ●新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ●社説を比較して読み、内容の特徴を理解する。 | 【知識・技能】情報の信頼性の 確かめ方を理解し使っている。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 | 【態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、 今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。 |

| 漢字の広場 1 呉音・漢音・唐音 | 1 | ●漢字の音の歴史について の理解を深める。 | 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | | 【態度】繰り返し学年別配当表に示されている漢字を書き,今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 |
|-----------------------|---------------|--|--|---|---|
| 文法の小窓 1 助詞のはたらき | 2 | ●助詞のはたらきについて 理解する。 | 【知識・技能】助詞のはたらき について理解している。 | | 【態度】助詞に興味・関心を 抱き、粘り強く助詞の種類と はたらきを理解し、その理解 を「話すこと・聞くこと」 「書くこと」「読むこと」の 学習に生かして、適切に表 現・理解しようとしている。 |
| AIは哲学できるか | 5 (書 1) | ●「哲学」など,筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ●事例や主張が適切かを考えながら読む。 ●文章の内容について検討したり、吟味したりしながら筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる。 | 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 | 【態度】粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって批評する文章を書こ |
| 【書く】具体例をもと に説明文を書く | 書 5 | ●具体的な事例をもとに一般的な特徴を導く。 ●読み手に説明するために 構成を工夫する。 | 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【知識・技能】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 | 【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 | 【態度】積極的に文章の種類 を選択し、学習の見通しを もって発表のための資料を作 成しようとしている。 |
| 漢字の広場 2 熟字訓 | 1 | ●熟字訓についての理解を 深める。 | 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | | 【態度】繰り返し学年別配当表に示されている漢字を書き,今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 |

| 言葉の小窓 1 和語・漢語・外来語 | 1 | ●和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。 | 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | | 【態度】粘り強く言葉の特徴 や使い分けを理解し、学習課 題にそって文章を読む際の生 かし方を考えようとしてい る。 |
|--------------------------|-----|--|--|---|---|
| async | 3 | ●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ、評価しながら読む。 ●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 | | 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 | 【態度】粘り強く文章を読んで自分の考えを深め、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。 |
| 問いかける言葉 | 聞 | ●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ、評価しながら読む。 ●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 | | 【思考・判断・表現】「読むこと」に おいて,文章の構成や論理の展開, 現の仕方について評価している。 【思考・判断・表現】「読むこと」に おいて,文章を読んで考えを自然と について,自分の意見をもってとば深めたりして,自分の意見をもってこと について,自分の意見をもってとと に思考・判断・表現】「話すことと に思考・判断・表現】「話すことと において,進行の仕たりと したり互いの発言を生かしたり としたり にたり にから にが にかいて。 はだいで にないて。 はだいで にない にない にない にない にない にない にない にない にない にない | 【態度】粘り強く文章を読んで自分の考えを深め、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。 |
| 【書く】 説得力のある批評文を 書く | 書 5 | ●資料を比較して,自分の考えを整理する。 ●伝えたいことを明らかにし,説得力のある文章を書く。 | | 【思考・判断・表現】「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 | 【態度】積極的に情報の信頼 性の確かめ方を理解し、学習 の見通しをもって批評する文 章を書こうとしている。 |

| 文法の小窓2 助動詞のはたらき | 2 | ●助動詞のはたらきについて理解する。 | 【知識・技能】助動詞などのは たらきについて理解している。 | | 【態度】積極的に助動詞に興味・関心を抱き,助動詞のはたらきを理解し,その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして,適切に表現・理解しようとしている。 |
|----------------------------|---------------|--|---|---|---|
| 言葉の小窓 2 相手に対する配慮と表 現 | 1 | ●場面や相手に応じた配慮 の表現の一つとしての敬語 のはたらきについて理解す る。 | 【知識・技能】敬語などの相手 や場に応じた言葉づかいを理解 し,適切に使っている。 | | 【態度】粘り強く相手や場に 応じた言葉づかいを理解し, 学習課題にそって実生活への 生かし方を考えようとしてい る。 |
| ニュースで情報を編集する | 2 (書 1) | ●ニュースを構成する情報 について整理し、それぞれ の効果について考える。 ●ニュースを構成する情報 を、目的にそって効果的に 使う。 | 【知識・技能】情報の信頼性の 確かめ方を理解し使っている。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 | とその特徴について理解し, 学習の見通しをもってニュー スの形式にまとめようとして |
| 実用文を読む | 1 | ●実用文の特徴を理解し, 社会生活の中で生かす。 | 【知識・技能】文章の種類とその特徴について理解を深めている。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」に おいて、文章の種類を踏まえて、論理 の展開の仕方などを捉えている。 | 【態度】積極的に必要な情報 を精査・解釈し、今までの学 習を生かして実生活への生か し方を考えようとしている。 |
| 旅への思い | 4 | ●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ●歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。 | 【知識・技能】歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。 【知識・技能】長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」に おいて、古典の文章の構成や論理の展 開、表現の仕方について評価してい る。 | |

| 和歌の調べ | 3 | ●古人のものの見方や考え 方について話し合い,自分 の考えを深める。 ●和歌の技法や歴史的背景 を理解しながら,歌のリズ ムを味わう。 | に注息して古典を読むことを囲 して,その世界に親しんでい z | 【思考・判断・表現】「読むこと」において、古典の文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 | 【態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。 |
|--------------------|---------------|--|--|---|--|
| 風景と心情 | 3 | 解して考えを深める。 | 【知識・技能】歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」に おいて、古典の文章の構成や論理の展 開、表現の仕方について評価してい る。 | |
| 最後の一句 | 2 | ●わが国を代表する作家と その作品についてふれ,近 代の小説や物語を読む。 | 【知識・技能】自分の生き方や 社会との関わり方を支える読書 の意義と効用について理解して いる。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、 文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 | 的に読み, 今までの学習を生 |
| 漢字の広場 3 異字同訓 | 1 | ●異字同訓についての理解を深める。 | 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | | 【態度】繰り返して学年別配当表に示されている漢字を書き,今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 |
| 言葉の小窓3 慣用句・ことわざ | 1 | ●慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。 | 【知識・技能】慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | | 【態度】粘り強く慣用句など について理解し、学習課題に そって実生活への生かし方を 考えようとしている。 |
| 俳句の味わい | 2 (書 1) | ●言葉の意味を掘り起こし て読む。 | 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」に、 | 【態度】すすんで表現の仕方 について評価し、学習課題に そって批評しようとしてい る。 |
| 初恋 | 1 | ●表現上の工夫に注意して,暗唱する。 | 【知識・技能】文章の種類とそ の特徴について理解を深めてい る。 | | 【態度】粘り強く文章の種類 や構成について理解し、今ま での学習を生かして考えたこ とを説明しようとしている。 |

| 故郷 | 7 | ●「布室」について考え、 人間、社会などについて自 分の意見をもつ。 | したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 | 【態度】すすんで表現の仕方 について評価し、学習課題に 沿って批評しようとしてい |
|---------------------------------|---------|--|---|---|--|
| 【書く】 自己PR文を書く | 書2 | ●読み手を意識して、適切な言葉を選ぶ。 ●読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。 | 【知識・技能】具体と抽象など 情報と情報との関係について理 | 【思考・判断・表現】「書くこと」に おいて、論理の展開などについて、読 み手からの助言などを踏まえ、自分の 文章のよい点や改善点を見いだしてい る。 | がわかりやすく伝わる文章に なるように工夫し、学習課題 |
| 【話す聞く】 表現の工夫を評価して スピーチをする | 話聞 2 | りやすくなるよう表現の工 | 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 | 心しく言果を悪い、子官硃越 にみって主張しよるとしてい |
| 漢字の広場 4 四字熟語 | 1 | | 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語について理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | | 【態度】繰り返し学年別配当表に示されている漢字を書き,今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 |

| 持続可能な未来を創る ために――人間の生 命・存在を考える/生 命とは何か/地球は死 にかかっている/水の 星 | (話 間1 事 | 向けて、自己変容を通じて | 【知識・技能】具体と抽象など 情報と情報との関係について理 解を深めている。 | 【思考・判断・表現】「話すことを において、進行の仕方りしたり において、進行のしたりで において、進行のしたりで を生かしたりで を生かしたけで の発言形成いる。 「書くこと がたり深めたりまえたり にがまままます。 にはまするな文章になる にはまする。 「読むとば然からいる。 「まれて、 にいる。 「まれて、 にいる。 にいる。 にいて、 にいる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にい。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 | 【態度】粘り強く論理の展開 の仕方を捉え、学習課題に そって考えたことについて討 論しようとしている。 |
|--|---------------|---|--|---|--|
| 【話す聞く】 意見を共有しながら話 し合う | 話聞 2 | ●相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。 ●話し合いの進行の仕方を 工夫して、合意形成を行う。 | 【知識・技能】具体と抽象など 情報と情報との関係について理 解を深めている。 | したり互いの必要な出かしたりしわが | 【態度】 傾極的に相手で場に |

| 【書く】 情報をまとめて作品集 を作る | 書 4 | ●自分の文章の収集と整理 をする。 ●学習を振り返り、読み手 に自分の思いが伝わる作品 集を作る。 | 【知識・技能】具体と抽象など 情報と情報との関係について理 | 【思考・判断・記言と、 書で、、たな、 書で、、たな、 書で、、たな、 書で、、たな、 まで、、たな、 でで、、たな、 でで、、たな、 をで、、たな、 をで、、たな、 をで、、たな、 をで、、たな、 をで、、たな、 で、、たな、 で、、たな、 で、、たな、 で、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、 | 【態度】積極的に今までの学習を生かして発表のための資料を作成しようとしている。 |
|---------------------------|-----|---|---|---|--|
| バースデイ・ガール | 2 | ●自分の読書生活を振り返り, さまざまな本や文章を 読む。 | 社会との関わり方を支える読書 | 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 | る言葉の違いについて理解 |
| 青春の歌 | 1 | | 【知識・技能】自分の生き方や 社会との関わり方を支える読書 の意義と効用について理解して いる。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」に | 【態度】積極的に文章の種類 とその特徴について理解し, 今までの学習を生かして批評 しようとしている。 |

| やわらかな想い | 1 | | 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 | について評価し,学習課題に そって批評しようとしてい |
|------------------|---|--|--|--|-------------------------------|
| ー 行書を深めよう | | 付書の特徴について理解を深め、筆使いに気をつけて書くことができる。 行書で学習したことを、日常生活に生かしていくことができる。 1 点画の変化と連続「創造」点画の変化と連続を理解して書くことができる。 次の文字への筆脈を理解して書くことができる。 | 占画の変化と連続 次の文字への | 点画の変化と連続,次の文字への筆脈 に関する筆使いを確かめ,自己の課題を 考えている。 | |
| 二 行書と仮名を調和させて書こう | 3 | 行書と仮名を調和させて書くことができる。 行書で学習したことを、学習活動や日常生活に生かしていくことができる。行書と仮名を調和させて書くことができる。 行書で学習したことを、学習活動や日常生活に生かしていくことができる。 行書と仮名を調和させて書くことができる。 | 単元目標を理解している。 | 単元目標を確認している。 | 単元目標を把握しようとしている。 |

| 三 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう | | 1 多様な表現による文字 身のまわりで見かける,文字 | 楷書や行書の筆使い, 字形を理解 して書いている。 | について考えている。 | 身のまわりで見かける, 文字の表現効果に興味・関心をもっている。 三年間の学習を生かして, 楷書や行書の筆使いなどの習得に自己の課題をもって取り組んでいる。 |
|--|---|---------------------------------------|------------------------------|------------|---|
| 書き初めを書く | 3 | 「真理の採先」 行書の特徴や配列を理解して 書くことができる。 | | | 中学校での書写学習のまとめと して、自己の課題をもって取り組 んでいる。 |